

# CVIとWebRTCの比較（相違点と設定）

## 内容

---

[概要](#)

[背景説明](#)

[CVI](#)

[WebRTC](#)

[使用できるユーザ](#)

[設定](#)

[CVIのセットアップ](#)

[VIMTの導入](#)

[WebRTCのセットアップ](#)

---

## 概要

このドキュメントでは、CVIとWebRTCの違いについて説明します。

## 背景説明

CVI: Cisco Webex Video Integration for Microsoft Teams(VIMT)

は、クラウドまたはオンプレミスに登録されたシスコまたはSIP対応のビデオデバイスから Microsoft Teams会議に参加するためのシームレスなエクスペリエンスをユーザに提供します。

WebRTC

モバイルおよびデスクトッププラットフォーム向けのオープンソース通信テクノロジー。プラグインを必要としないAPIをベースに構築されており、主要なWebブラウザとオペレーティングシステムすべてでサポートされています。

WebRTCを使用するアプリケーションは、ブラウザベースであることが一般的です

WebRTCは通常、リアルタイムのオーディオおよびビデオ通信で使用されます。一般的に、ブラウザベースのアプリケーションで個人間コミュニケーションに使用される

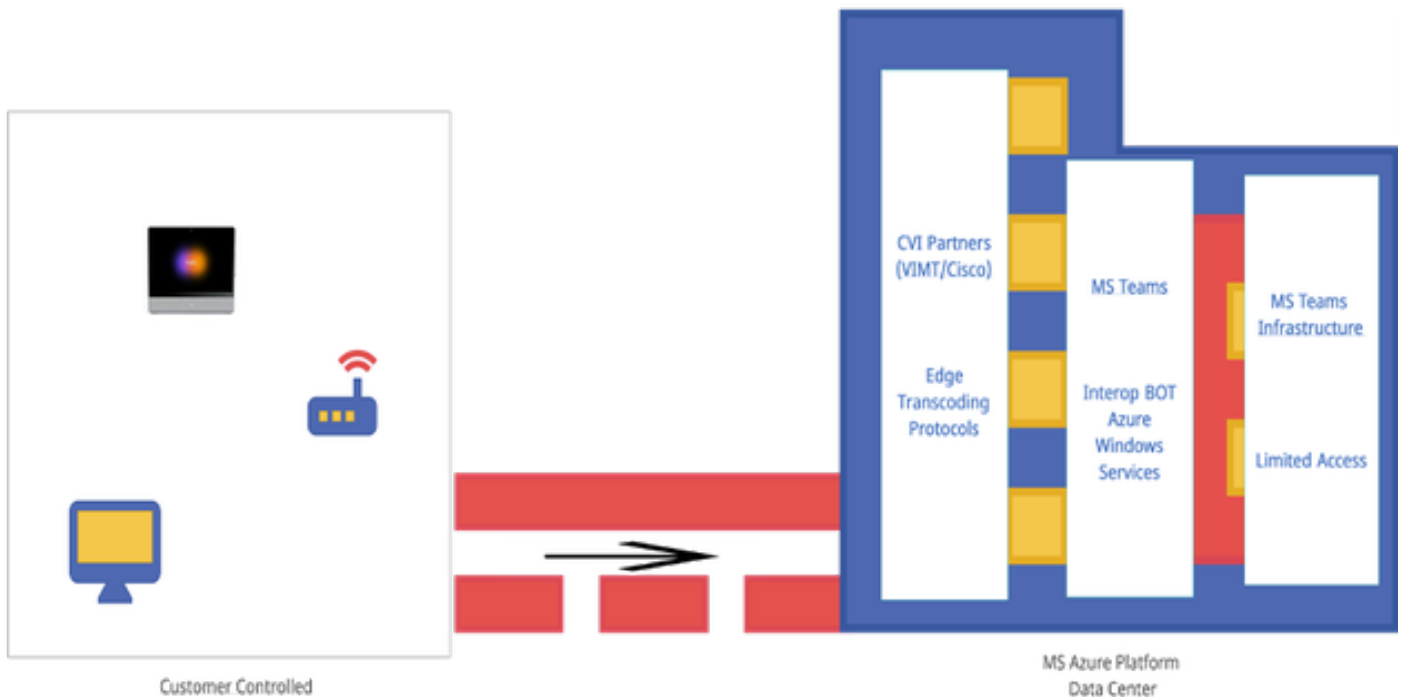
2台のデバイスを直接接続し、いくつかの標準とプロトコルを使用して音声とビデオデータをリアルタイムで送信する詳細をすべて処理します。

CVI

これは、Microsoft Teamsがクラウドソリューションであるために作成されました。

MicrosoftクライアントのみがMicrosoft会議に参加できます。そこでMicrosoftはCVI(Cloud Video Interop)を開発しました

VIMTは、シスコとMicrosoft Teamsの提携により、次のソリューションを提供しています。



## WebRTC

WebRTCコールを開始すると、アプリケーションはコールに接続する他のデバイスとの接続を確立する必要があります。

その前に、WebRTCアプリケーションはファイアウォールとNATを通過する必要があります。PCはプライベートアドレスだけを認識しているため、WebRTCアプリはSTUNサーバに接続してパブリック側のIPアドレスを取得します。

次のWebRTCアプリケーションは、コールに接続されている他のデバイスからもパブリック側のIPを取得します。アプリが必要なIPアドレスをすべて知ると、ICE(Interactive Connectivity Establishment)候補と呼ばれる潜在的な接続設定のリストを作成し、最も効率的な設定を選択します。

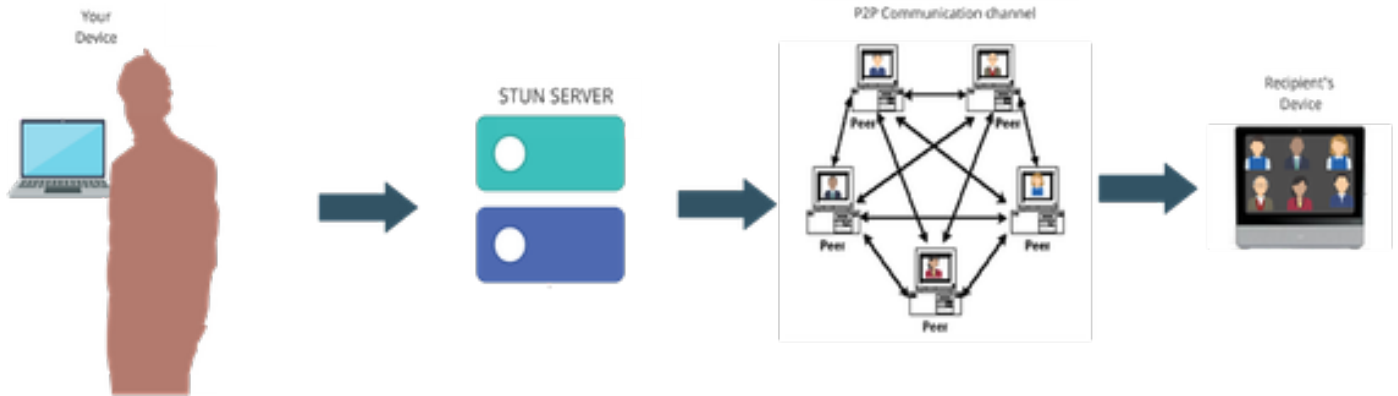
次のWebRTCアプリは、WebRTCコール上のすべてのデバイスがリアルタイムでオーディオとビデオのデータを交換できるプライベートデータチャネルを開きます。これはプライベート接続であり、通話中に誰もアクセスできません。

直接接続が確立できない場合、WebRTCアプリはTURN(Traversal Using Relays Around NAT)サーバを使用します。

TURNサーバはリピータとして機能します。WebRTCコールのデバイス間で直接接続を確立できない場合、アプリはコンピュータに音声とビデオデータをTURNサーバに送信させ、サーバはデータを受信側デバイスに送信し、逆に送信します。WebRTC通信にTURNサーバを使用することは最後の手段です。

さらに、WebRTCコール上のデバイス間でポート、プロトコル、およびネットワークの複雑なシステムをナビゲートするためにサポート技術が使用されます。APIを使用して、カメラやマイク

にアクセスし、音声およびビジュアルデータを収集します。



## 使用できるユーザ

商用サイトでは –

- CVIおよびWebRTCは商用でサポートされています
- 会議番号による参加など、WebRTCの優れた機能を開発中です

Fedrampサイト –

- CVIはFedrampで動作するが、サポートされない
- 接続を設定できる場合は、VIMTコール中に音声途切れるため、Fedramp環境ではCVIコールはサポートされません。
- WebRTCがMicrosoft Teams会議に参加することをサポートします。(GCCの上限ではありません)

## 設定

### CVIのセットアップ

これには、パートナー管理者ではなくWebex組織の完全な管理者権限、Microsoftテナントのグローバル管理者権限を持つアカウントへのアクセス、Webex組織に追加されたサブドメインが必要です。

Webex Video Integration for Microsoft Teamsライセンスが、組織内のコントロールハブのサブスクリプションパネルに、サブスクリプションのライセンスとともに表示されていることを確認します。ハイブリッドサービスのControl Hubで、ライセンス済み組織カード、既存の設定組織カード、またはライセンスなし組織カードの組織ライセンスの状態を確認することもできます。

- Overview
- Alerts center
- MONITORING
- Webex Experience
- Analytics
- Troubleshooting
- Reports
- MANAGEMENT
- Users
- Workspaces
- Devices
- Apps
- Account
- Organization Settings
- SERVICES
- Calling
- Connected UC
- Hybrid

Account

License Summary	License usage across all subscriptions	
Enterprise Trial	Messaging	Advanced Messaging License Usage: 45/100
Subscription	Meeting	Advanced Space Meetings License Usage: 42/150
Subscription		Webex Events 100 License Usage: 2/18
		Webex Meetings Suite License Usage: 3/50
	Calling	Webex Calling License Usage: 5/105
	Webex Devices	Webex Room Systems License Usage: 33/5 <span>License Overage</span>
	Management and Security	Cloud-Connected UC Pro licenses purchased: 50
		Control Hub Pro-Pack Licenses purchased for an organization of 50 users
	Integrations	Webex Video Integration for Microsoft Teams License purchased for 50 devices

VIMT Licenses

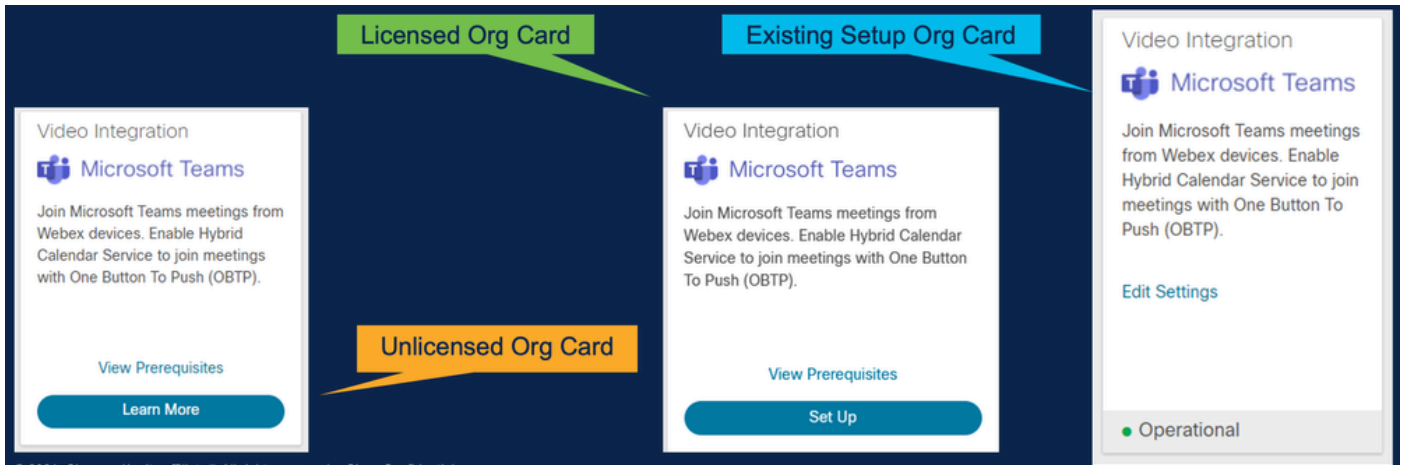


Customer Details

```
{
  "schemas": [
    "urn:cisco:codev:identity:organization:core:1.0"
  ],
  "displayName": " ",
  "meta": {
    "created": "2016-09-27T15:34:37.044Z",
    "lastModified": "2021-11-23T08:50:41.145Z",
    "uri": "https://identity.webex.com/organization/scim/v1/Orgs/"
  },
  "id": "b522e1f2-553f-49a8-af80-9285a5d7f38e",
  "email": " ",
  "verifiedDomains": [
    " "
  ],
  "services": [
    "spark-hybrid-impinterop",
    "ucmgmt",
    "spark-admin",
    "spark-compliance",
    "atlas-portal",
    "spark-feature-admin",
    "squared-ecp-serviceability",
    "squared-fusion-media",
    "msteams-video-interop",
    "squared-onbehalf-of",
    "squared-call-initiation",
    "spark-test-account",
    "atlas-premium-pack",
    "spark-hybrid-datasecurity",
    "spark"
  ]
}
```

msteams-video-interop services flag on the org





## VIMTの導入

導入に関するドキュメントとチェックリストを表示する前提条件リンクを表示します。Authorizeを選択して、Microsoftのログインプロンプトでログインを求められます。O365グローバル管理者アカウントでログインし、要求された権限を受け入れるように求めるプロンプトが表示されます。提供されている2つの設定をPowerShellに貼り付けます。Control Hub内のセットアップページで提供される最初の設定行。この設定は次のように行われます。2番目の設定行には、組織内のすべてのMicrosoft Teamsユーザーに対してこの機能を有効にする「グローバルフラグ」が表示されます。

## Video Integration Prerequisites



Before you set up the Service, complete the following prerequisites. See the documentation for guidance

[Open Documentation](#)

### Steps

- Licensing for Cisco Webex Video Interoperability for Microsoft Teams
- Microsoft 365 Tenant with licensed users
- Microsoft Teams deployed
- Microsoft 365 Global Administrator to accept Azure app permissions
- Ability to run Microsoft PowerShell commands
- SIP Address for Cisco Webex Calling configured for your Webex organization

[Close](#)



## Video Integration Setup

### Microsoft Teams

This service needs permission to access your Microsoft Tenant, which requires a Microsoft 365 **Global Administrator** to accept Azure app permissions.

Click **Authorize** to sign into Microsoft and accept [permissions](#) for the service. After you accept, your browser should redirect you back here. If you are not redirected shortly, return to [admin.webex.com](https://admin.webex.com) and start this process again.

Authorize



████████████████████.net

## Permissions requested

### Review for your organization



This app would like to:

- ▼ Read domains
- ▼ Initiate outgoing 1 to 1 calls from the app
- ▼ Initiate outgoing group calls from the app
- ▼ Join group calls and meetings as an app
- ▼ Join group calls and meetings as a guest
- ▼ Access media streams in a call as an app
- ▼ Read online meeting details
- ▼ Sign in and read user profile

If you accept, this app will get access to the specified resources for all users in your organization. No one else will be prompted to review these permissions.

Accepting these permissions means that you allow this app to use your data as specified in their [terms of service](#) and [privacy statement](#). You can change these permissions at <https://myapps.microsoft.com>. [Show details](#)

Does this app look suspicious? [Report it here](#)



## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。